

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	原爆症調査研究委託費(原爆被爆者の分子生物学等及び免疫機能に関する研究)	事業開始年度	昭和44年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	総務課指導調査室	総務課指導調査室 岡山 健二		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「平成21年度原爆症調査研究委託事業実施要領(原爆被爆者の免疫機能及び分子生物学等に関する研究事業)」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当委託費は、原爆放射能の健康影響に関する調査研究を行うことにより、原爆被爆者の健康の保持・増進及び福祉の向上を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>平成21年度原爆症調査研究委託費(研究課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 原爆被爆者の固形がん発生に関する遺伝子異常とその分子疫学的研究 これまでの研究実績等を活用し、採取した被爆者の組織細胞から遺伝子の異常を把握し、原爆放射線との因果関係の実証を、実際の検体を利用して、確実に行うことができるか実証研究を行う。 原爆被爆者の骨髄・免疫異常の発生に関する疫学及び分子生物学的研究 原爆被爆者における骨髄及び免疫異常の発症について疫学調査を行う。そして、分子生物学的な手法を用いて、放射線被曝が被爆者の骨髄・免疫異常の発生に及ぼす経年的な影響を調査し、その発症メカニズムを解明する。 疾患と放射線との関連についての文献レビュー 原爆のみならず、医療被曝、職業被曝等による放射線被曝による疾患発生との関連性を最近の調査研究により解明する。 					
実施状況	委託先は、公募により決定。 平成21年度は、財団法人放射線影響研究所に委託して原爆症調査研究を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	11	7	5	4	3
	執行額	7	7	5		
	執行率	63.6	100	100		
	総事業費(執行ベース)	7	7	5		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業報告書により把握。				
	見直しの余地	平成22年度予算については、原爆症調査研究委託費にかかる経費の見直しを行い、対前年度80パーセント(△1百万円)の予算規模とした。				
予算監視の効率	<p>一部改善(事業の優先度を勘案し縮減)</p> <p>原爆症調査研究委託費(原爆被爆者の分子生物学等及び免疫機能に関する研究)については、予算効率化の観点から、事業の必要性を見直し、優先順位を付けるなど予算縮減に努めること。</p>					
補記						

厚生労働省
5百万円

委託先の決定。契約書、実施要領の作成。事業計画書等の審査、承認。委託費の支払い。



【公募・委託】

A. (財)放射線影響研究所
5百万円

契約書、実施要領、事業計画書等に従い事業を実施。事業完了後事業報告書を提出。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(財)放射線影響研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費等	庁費(研究用消耗品費、事務用消耗品費等)、謝金、旅費等	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0